

# 西彼保健所感染症情報

令和7年 第19週 令和7年5月5日 ~ 令和7年5月11日

## 全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第19週】百日咳 患者1名 (10代・女性)

## 定点把握の対象となる5類感染症 発生状況 (定点医療機関当たり患者数)

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
	18週	19週	警報レベル		注意 報レベル		18週	19週	警報レベル		注意 報レベル
			開始	終息					開始	終息	
インフルエンザ定点	0.00	0.00	30	10	10	突発性発しん	0.00	1.00	/	/	/
COVID-19	0.80	0.00	/	/	/	ヘルパンギーナ	0.00	0.00	6	2	/
急性呼吸器感染症 (ARI)	82.80	60.20	/	/	/	流行性耳下腺炎	0.00	0.33	6	2	3
R Sウイルス感染症	0.33	1.33	/	/	/	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	/
咽頭結膜熱	0.00	0.00	3	1	/	流行性角結膜炎	0.00	0.00	8	4	/
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.67	0.33	8	4	/	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	/	/	/
感染性胃腸炎	9.00	8.00	20	12	/	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	/	/	/
水痘	1.00	0.67	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	1.00	0.00	/	/	/
手足口病	0.00	0.33	5	2	/	クラミジア肺炎	0.00	0.00	/	/	/
伝染性紅斑 (リンゴ病)	0.33	0.00	2	1	/	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.00	0.00	/	/	/

## トピックス・季節情報

**百日咳に注意しましょう! 特に家族内感染に注意が必要です!!**

※第20週に入り、既に8名の患者発生を確認しています。

- 潜伏期間は5~10日間(最大3週間程度)です。
- 経過はカタル期(感冒症状、1~2週間)、痙咳期(乾性咳嗽と発作性の咳、3~6週間)、回復期(6週間以降)の3期に分けられ、排菌はカタル期に多いといわれています。
- 感染経路は鼻咽頭や気道からの分泌物による飛沫感染や、感染者と接触したりすることによる感染(接触感染)とされています。
- 咳エチケット(マスクを着用する場合は鼻と口にしっかりフィットさせた状態で着用しましょう。)、手指衛生や換気を徹底し、感染拡大防止をはかりましょう。
- 予防には、5種混合ワクチン(DPT-IPV-Hib)等の接種が有効です。
- 接種を行っていない人や接種後年数が経過し、免疫が減衰した人での発病が見られており、いまだ多くの流行が発生しています。

百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作を特徴とする急性の気道感染症です。



<医療機関の皆様へ>百日咳は平成30(2018)年1月1日から、5類の全数把握疾患となり、診断した医師すべてに診断後7日以内の届出が義務付けられています。従って医師は、臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から百日咳が疑われ、検査を実施し、百日咳と診断した場合(検査確定例と接触歴のある百日咳の臨床的特徴を有する症例は検査診断不要)は、届出をお願いします。